

「世界農業遺産」認定に係る認知度についてのアンケート結果

滋賀県では、琵琶湖の伝統漁業や、湖魚が琵琶湖からやってきて産卵・繁殖する「魚のゆりかご水田」、環境や生きものを守る「環境こだわり農業」や水源林保全など、滋賀の風土と歴史の中で生み出されてきた「琵琶湖と共生する農林水産業」を、世界に誇る「琵琶湖システム」として発信しており、令和4年7月に「世界農業遺産」として認定されました。

こうした滋賀ならではの農林水産業の営みや環境配慮の取組について、アンケート調査を実施しました。

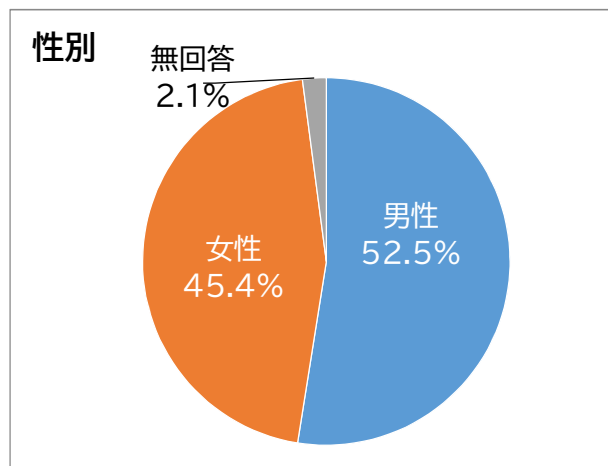
なお、「世界農業遺産」など「琵琶湖システム」の内容については、下記URLを御覧ください。

<https://www.pref.shiga.lg.jp/biwako-system/index.html>

- ★調査時期: 令和4年12月
- ★対象者: 県政モニター296人
- ★回答数: 240人 (回答率 81.1%)
- ★担当課: 農政水産部農政課
- (※四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります。)

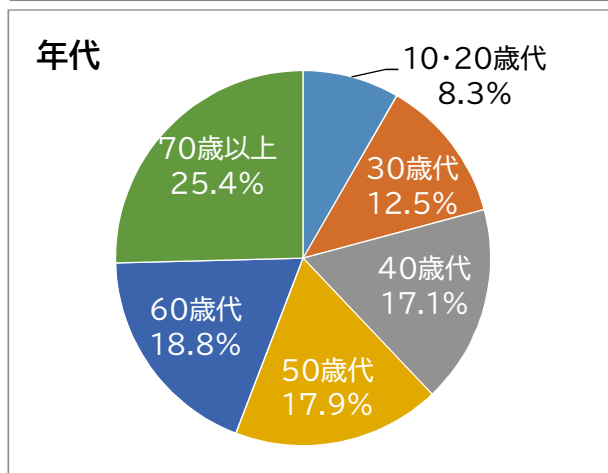
【属性】 ◆性別

項目	人数(人)	割合(%)
男性	126	52.5%
女性	109	45.4%
無回答	5	2.1%
合計	240	100%



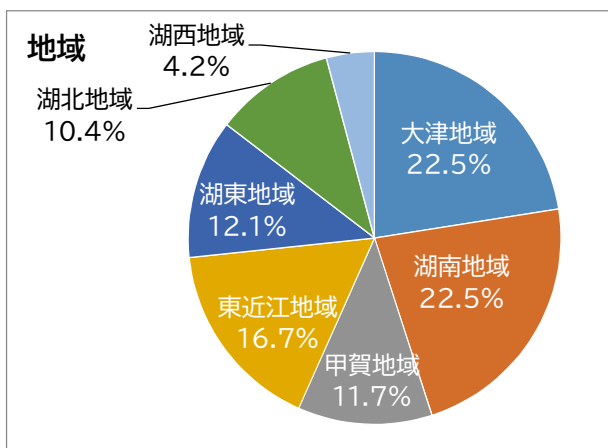
◆年代

項目	人数(人)	割合(%)
10・20歳代	20	8.3%
30歳代	30	12.5%
40歳代	41	17.1%
50歳代	43	17.9%
60歳代	45	18.8%
70歳以上	61	25.4%
合計	240	100%



◆地域

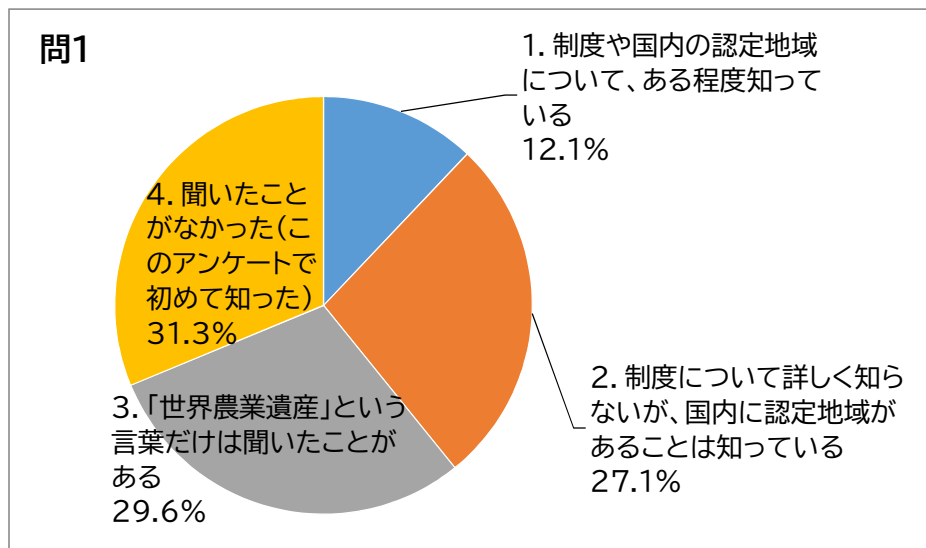
項目	人数(人)	割合(%)
大津地域	54	22.5%
湖南地域	54	22.5%
甲賀地域	28	11.7%
東近江地域	40	16.7%
湖東地域	29	12.1%
湖北地域	25	10.4%
湖西地域	10	4.2%
合計	240	100%



問1 「世界農業遺産」は、社会や環境に適応しながら何世代にもわたり形作られてきた伝統的な農林水産業と、それに関わって育まれてきた文化・景観・生物多様性などを一体的なシステムとして国連食糧農業機関が認定する制度です。

「世界農業遺産」の制度や認定地域を知っていますか。(回答チェックは1つだけ n=240)

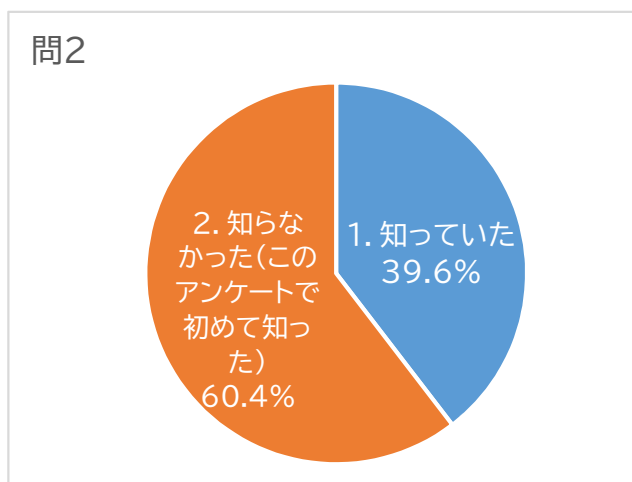
項目	人数(人)	割合(%)
1. 制度や国内の認定地域について、ある程度知っている	29	12.1%
2. 制度について詳しく知らないが、国内に認定地域があることは知っている	65	27.1%
3. 「世界農業遺産」という言葉だけは聞いたことがある	71	29.6%
4. 聞いたことがなかった(このアンケートで初めて知った)	75	31.3%
合計	240	100%



問2(1) 令和4年7月「琵琶湖システム」が、「世界農業遺産」に認定されました。「えり漁」などの伝統的な琵琶湖漁業や「ふなずし」などの食文化、「環境こだわり農業」や「魚のゆりかご水田」、水源林の保全活動を含む環境にやさしい農林水産業を「琵琶湖システム」と呼んでいます。

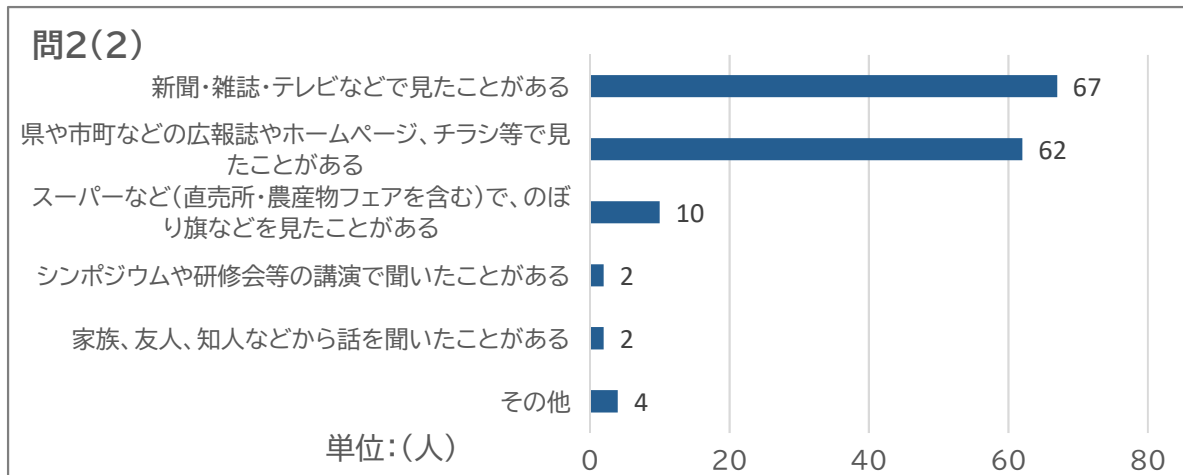
「琵琶湖システム」が世界農業遺産に認定されたことを知っていますか。(回答チェックはいくつでも n=240)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 知っていた	95	39.6%
2. 知らなかった(このアンケートで初めて知った)	145	60.4%
合計	240	100%



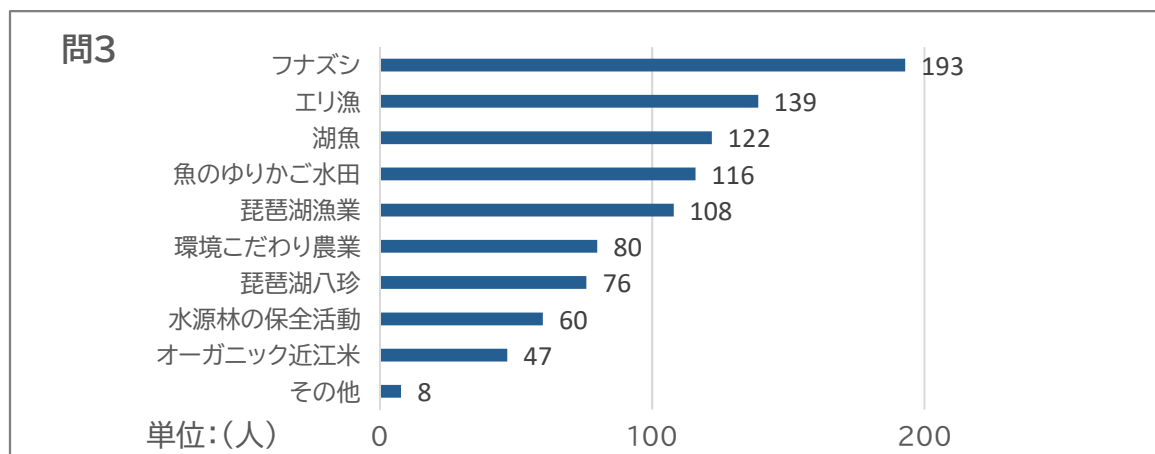
問2(2) 「琵琶湖システム」が「世界農業遺産」に認定されたことを何で知りましたか。
 ((1)で「1. 知っていた」と回答した人のみ表示、回答チェックはいくつでも n=95)

項目	人数(人)	割合(%)
新聞・雑誌・テレビなどで見たことがある	67	70.5%
県や市町などの広報誌やホームページ、チラシ等で見たことがある	62	65.3%
スーパーなど(直売所・農産物フェアを含む)で、のぼり旗などを見たことがある	10	10.5%
シンポジウムや研修会等の講演で聞いたことがある	2	2.1%
家族、友人、知人などから話を聞いたことがある	2	2.1%
その他	4	4.2%



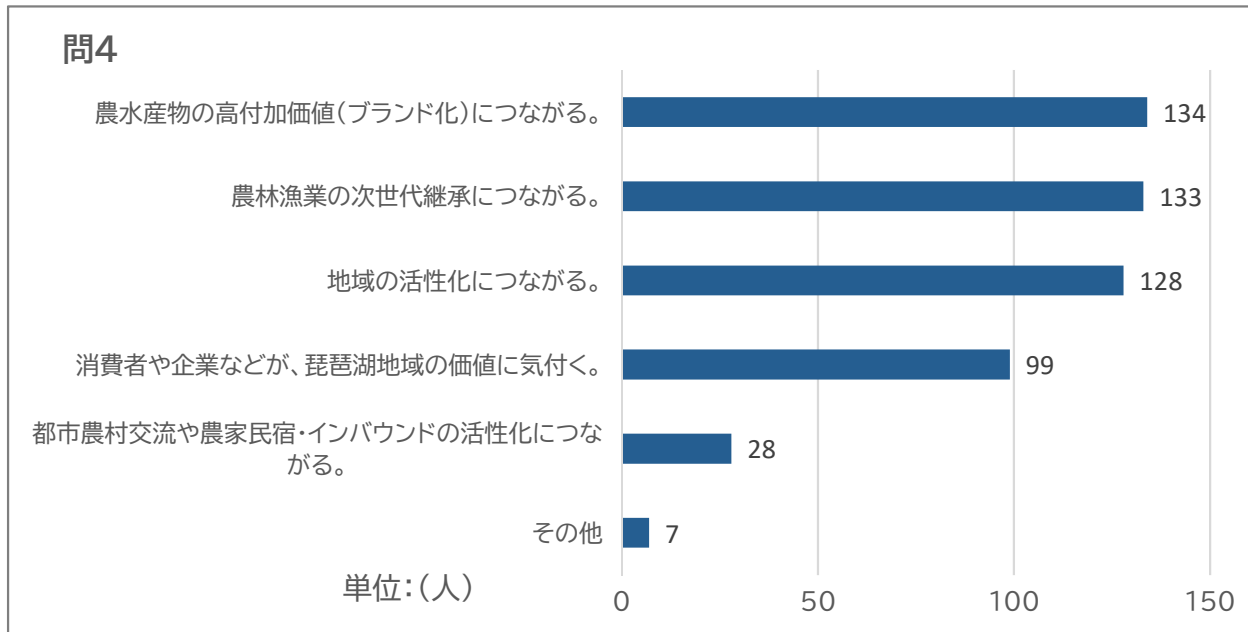
問3 「琵琶湖システム」の中で知っているものを選んでください。
 (回答チェックはいくつでも n=240)

項目	人数(人)	割合(%)
フナズシ	193	80.4%
エリ漁	139	57.9%
湖魚	122	50.8%
魚のゆりかご水田	116	48.3%
琵琶湖漁業	108	45.0%
環境こだわり農業	80	33.3%
琵琶湖八珍	76	31.7%
水源林の保全活動	60	25.0%
オーガニック近江米	47	19.6%
その他	8	3.3%



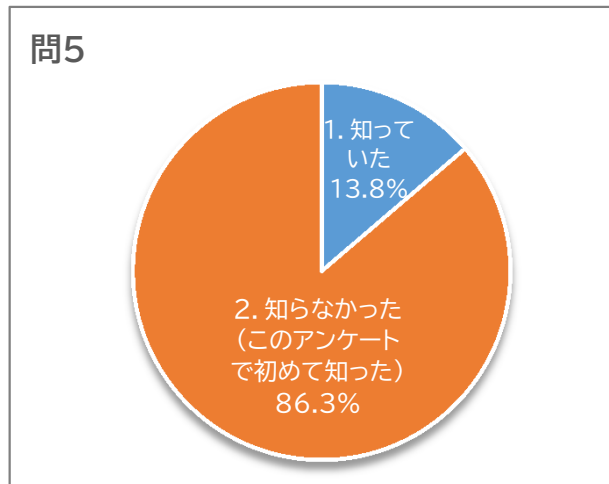
問4 「世界農業遺産」認定はどのような効果があると思いますか。
 (回答チェックは3つでも n=240)

項目	人数(人)	割合(%)
農水産物の高付加価値(ブランド化)につながる。	134	55.8%
農林漁業の次世代継承につながる。	133	55.4%
地域の活性化につながる。	128	53.3%
消費者や企業などが、琵琶湖地域の価値に気付く。	99	41.3%
都市農村交流や農家民宿・インバウンドの活性化につながる。	28	11.7%
その他	7	2.9%



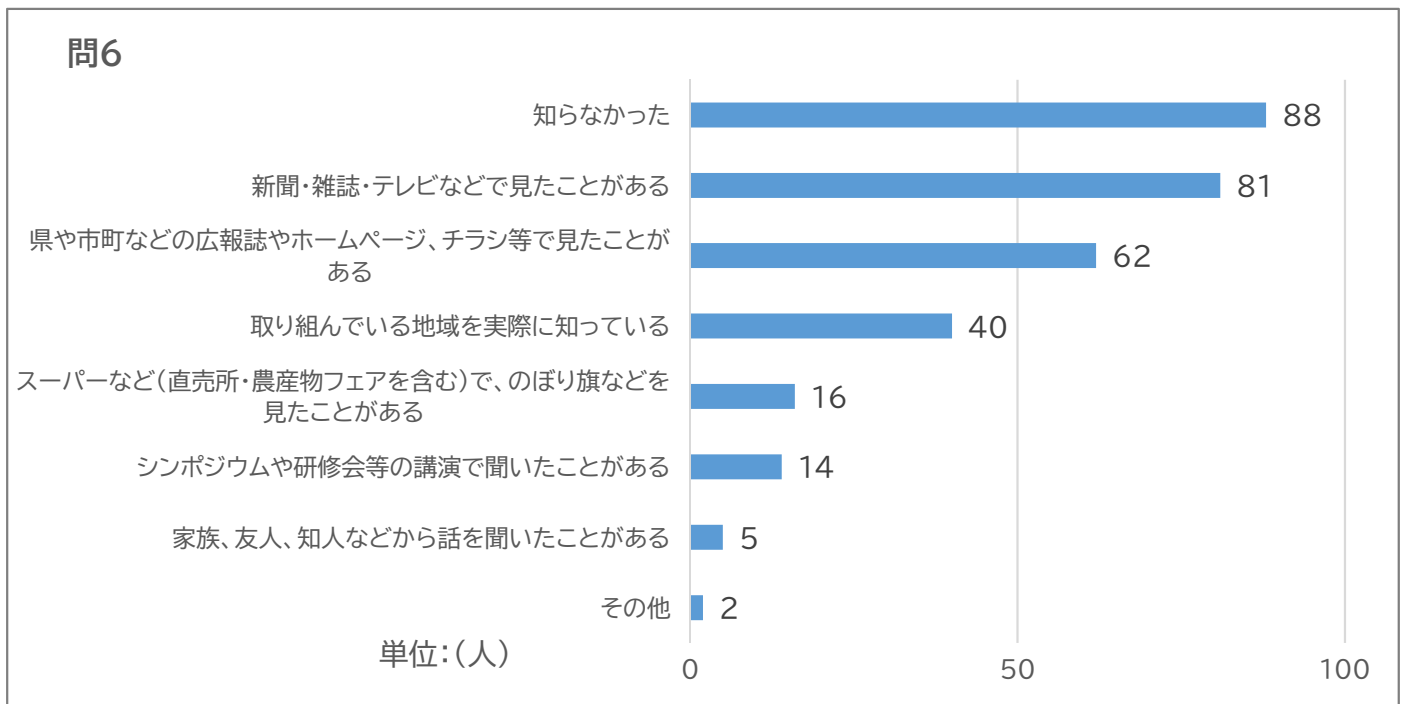
問5 「琵琶湖システム」のロゴマークを知っていますか。(回答チェックは1つだけ n=240)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 知っていた	33	13.8%
2. 知らなかった(このアンケートで初めて知った)	207	86.3%
合計	240	100%



問6 「魚のゆりかご水田」は、琵琶湖の魚が遡上・産卵・成育できる水田のことで、かつては琵琶湖周辺でごく普通に見られました。現在では、水路に魚道を設置して親魚の遡上を助け、水田で生まれた稚魚が琵琶湖に帰るまで大切に見守りながらお米を栽培されています。「魚のゆりかご水田」について知っていますか。(回答チェックはいくつでも n=240)

項目	人数(人)	割合(%)
知らなかった	88	36.7%
新聞・雑誌・テレビなどで見たことがある	81	33.8%
県や市町などの広報誌やホームページ、チラシなどで見たことがある	62	25.8%
取り組んでいる地域を実際に知っている	40	16.7%
スーパーなど(直売所・農産物フェアを含む)で、のぼり旗などを見たことがある	16	6.7%
シンポジウムや研修会等の講演で聞いたことがある	14	5.8%
家族、友人、知人などから話を聞いたことがある	5	2.1%
その他	2	0.8%

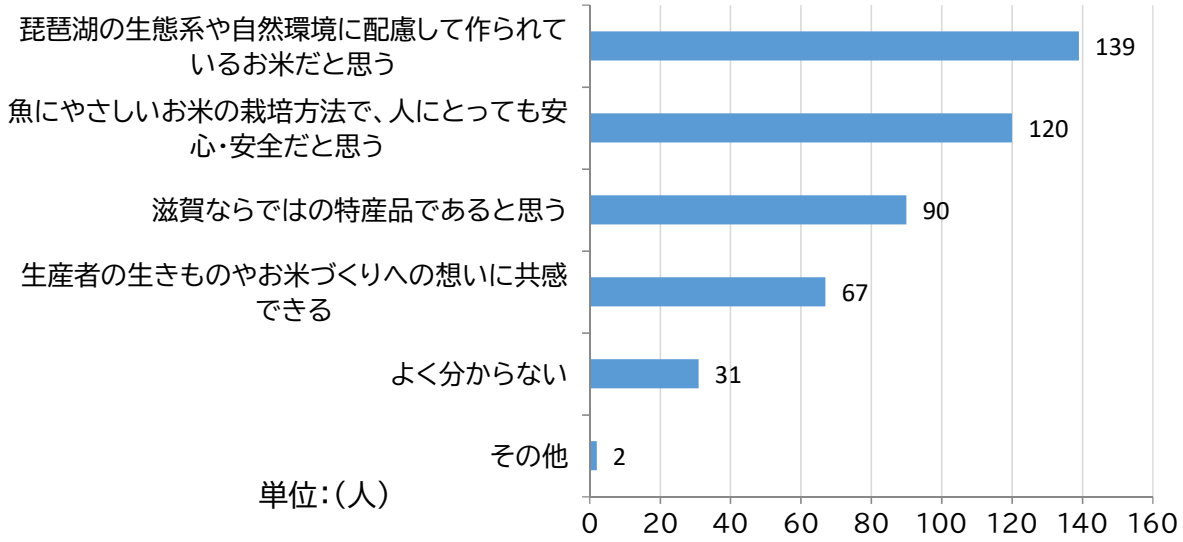


問7 「魚のゆりかご水田」で収穫されたお米「魚のゆりかご水田米」は、農薬や化学肥料を減らす等手間ひまかけて栽培された、環境や生きものにもやさしいお米です。

(1)イメージについてお尋ねします。(回答チェックは3つまで n=240)

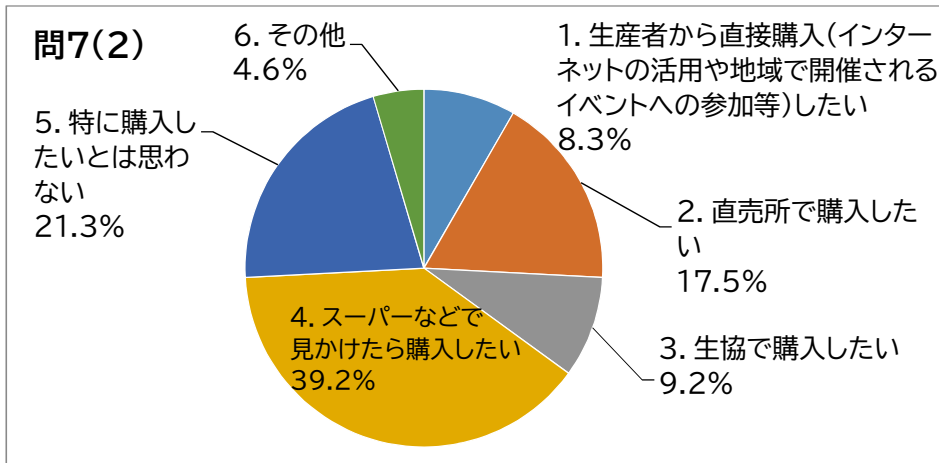
項目	人数(人)	割合(%)
琵琶湖の生態系や自然環境に配慮して作られているお米だと思う	139	57.9%
魚にやさしいお米の栽培方法で、人にとっても安心・安全だと思う	120	50.0%
滋賀ならではの特産品であると思う	90	37.5%
生産者の生きものやお米づくりへの想いに共感できる	67	27.9%
よく分からない	31	12.9%
その他	2	0.8%

問7(1)



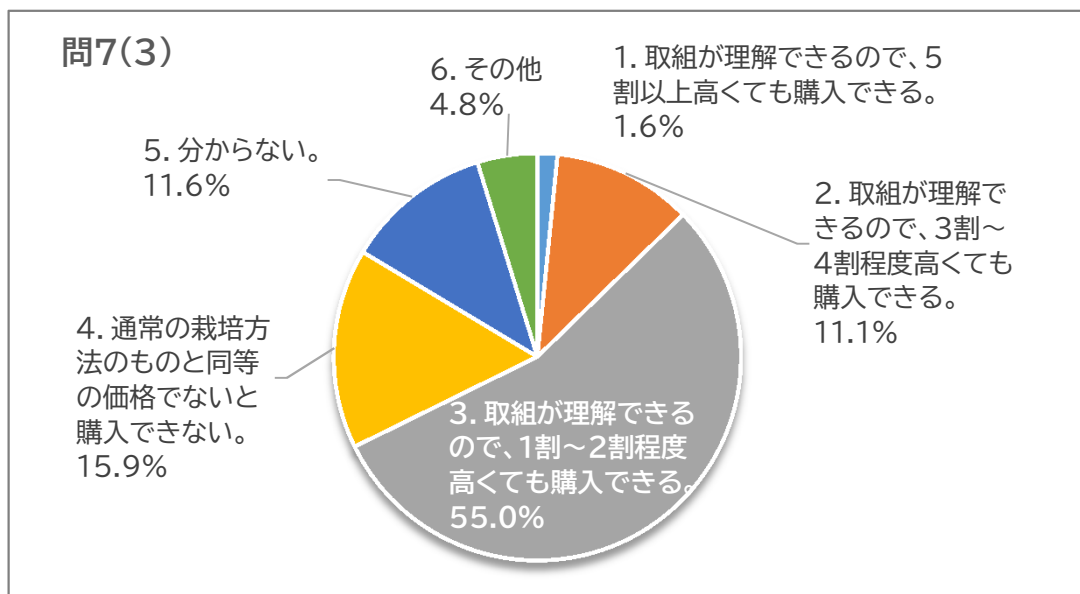
(2)購入についてお尋ねします。(回答チェックは1つだけ n=240)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 生産者から直接購入(インターネットの活用や地域で開催されるイベントへの参加等)したい	20	8.3%
2. 直売所で購入したい	42	17.5%
3. 生協で購入したい	22	9.2%
4. スーパーなどで見かけたら購入したい	94	39.2%
5. 特に購入したいとは思わない	51	21.3%
6. その他	11	4.6%
合計	240	100%



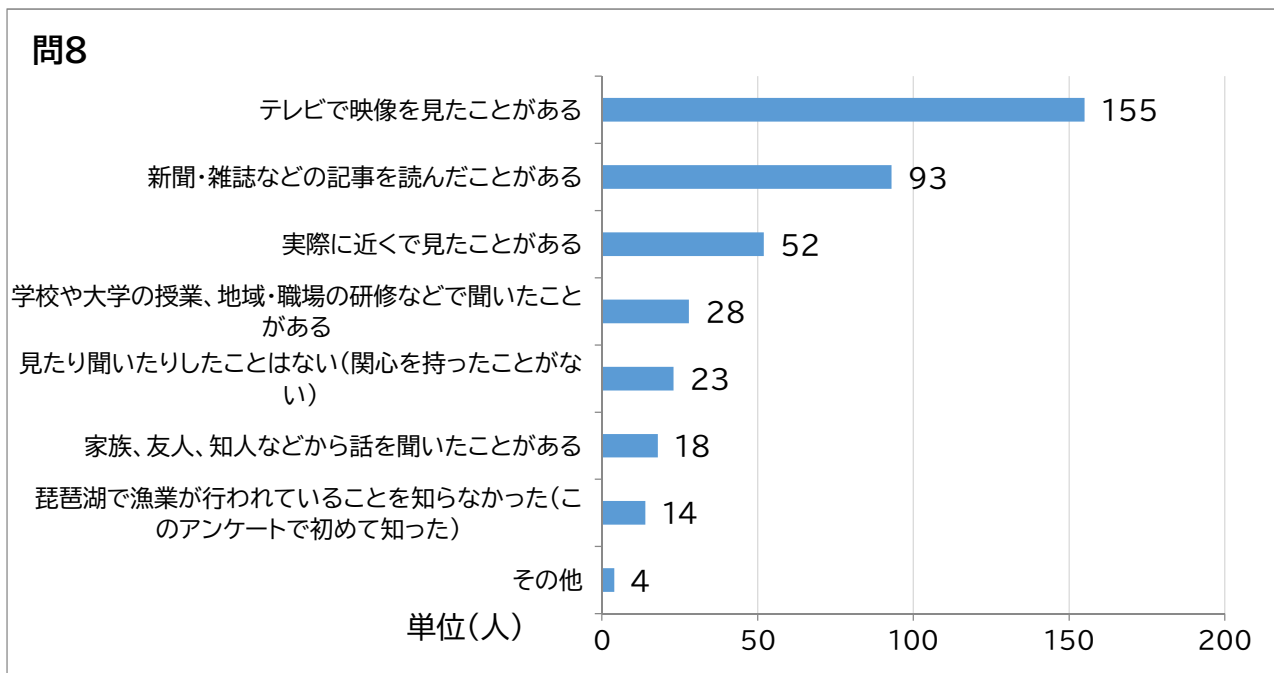
(3)「魚のゆりかご水田米」の価格について(回答チェックは1つだけ n=189)
 上記(2)で「5. 特に購入したいとは思わない」以外を選択された方にお尋ねします。
 魚のゆりかご水田米は、SDGsの目標15(陸の豊かさを守ろう)の取組にあてはまります。環境との調和を図り、農家がそのために手間をかけて生産されたお米の価格について、最も当てはまるものを1つ選択してください。

項目	人数(人)	割合(%)
1. 取組が理解できるので、5割以上高くても購入できる。	3	1.6%
2. 取組が理解できるので、3割～4割程度高くても購入できる。	21	11.1%
3. 取組が理解できるので、1割～2割程度高くても購入できる。	104	55.0%
4. 通常の栽培方法のものと同等の価格でないと購入できない。	30	15.9%
5. 分からない。	22	11.6%
6. その他	9	4.8%
合計	189	100%



問8 琵琶湖漁業について、見たり聞いたりしたことがありますか。(回答チェックはいくつでも n = 240)

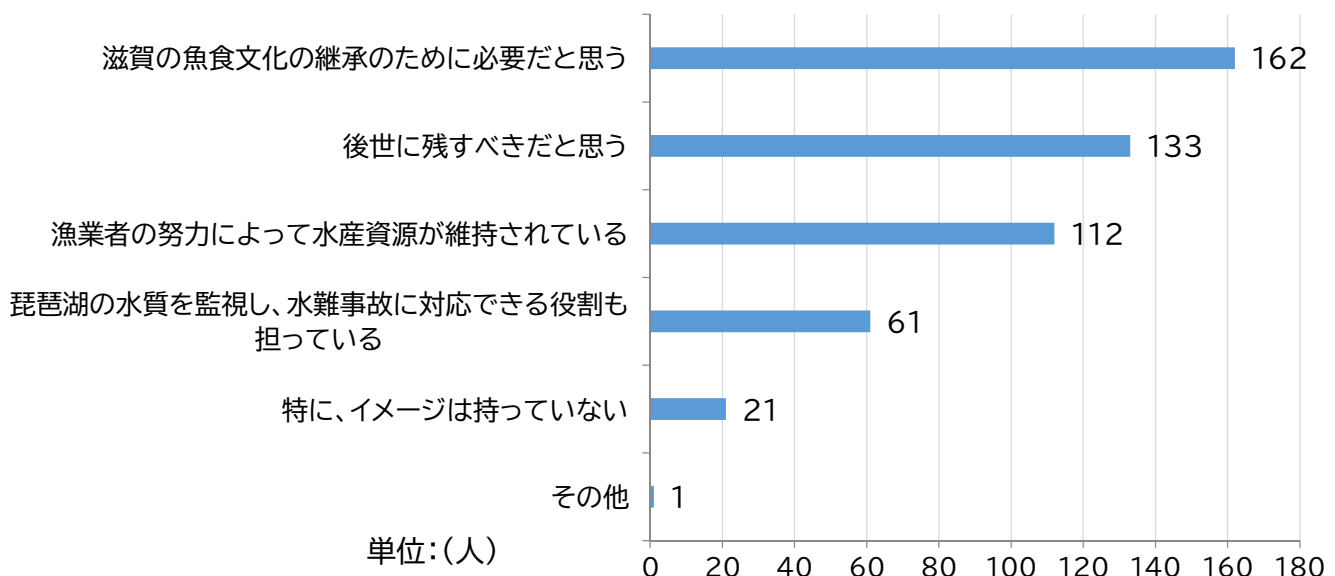
項目	人数(人)	割合(%)
テレビで映像を見たことがある	155	64.6%
新聞・雑誌などの記事を読んだことがある	93	38.8%
実際に近くで見たことがある	52	21.7%
学校や大学の授業、地域・職場の研修などで聞いたことがある	28	11.7%
見たり聞いたりしたことはない(関心を持ったことがない)	23	9.6%
家族、友人、知人などから話を聞いたことがある	18	7.5%
琵琶湖で漁業が行われていることを知らなかった(このアンケートで初めて知った)	14	5.8%
その他	4	1.7%



問9 琵琶湖の漁業は、豊かな生態系の中で縄文時代から受け継がれてきています。琵琶湖漁業のイメージを次の中から選択してください。(回答チェックは3つまで n=240)

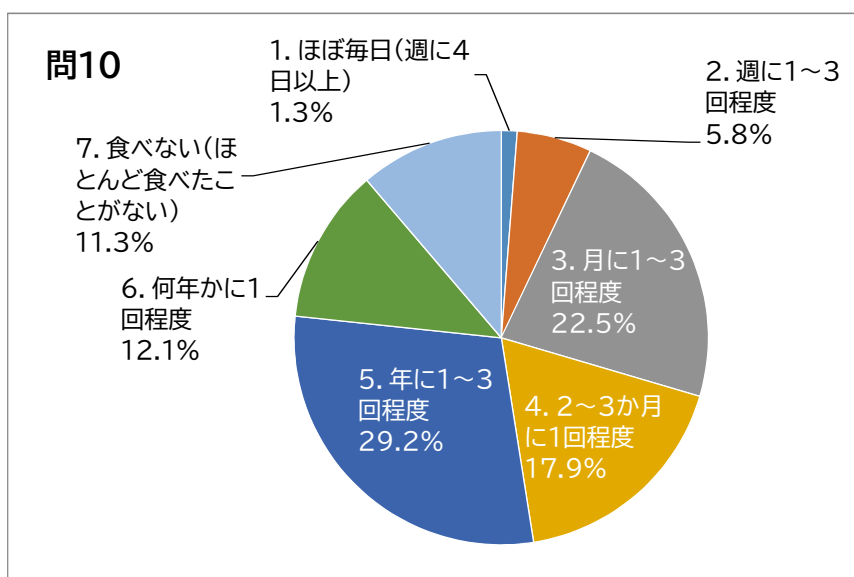
項目	人数(人)	割合(%)
滋賀の魚食文化の継承のために必要だと思う	162	67.5%
後世に残すべきだと思う	133	55.4%
漁業者の努力によって水産資源が維持されている	112	46.7%
琵琶湖の水質を監視し、水難事故に対応できる役割も担っている	61	25.4%
特に、イメージは持っていない	21	8.8%
その他	1	0.4%

問9



問10 琵琶湖の水産物(魚や貝)を食べる頻度について、最もあてはまるものを次の中から選択してください。(回答チェックは1つだけ n=240)

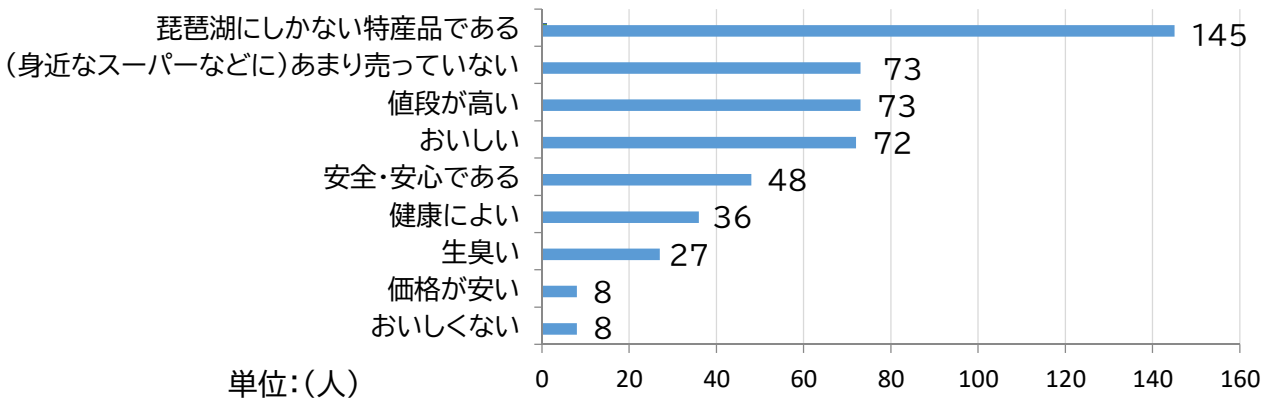
項目	人数(人)	割合(%)
1. ほぼ毎日(週に4日以上)	3	1.3%
2. 週に1~3回程度	14	5.8%
3. 月に1~3回程度	54	22.5%
4. 2~3か月に1回程度	43	17.9%
5. 年に1~3回程度	70	29.2%
6. 何年かに1回程度	29	12.1%
7. 食べない(ほとんど食べたことがない)	27	11.3%
合計	240	100.0%



問11 「琵琶湖の水産物(魚や貝)」のイメージについて、次の中から選択してください。(回答チェックは3つまで n=240)

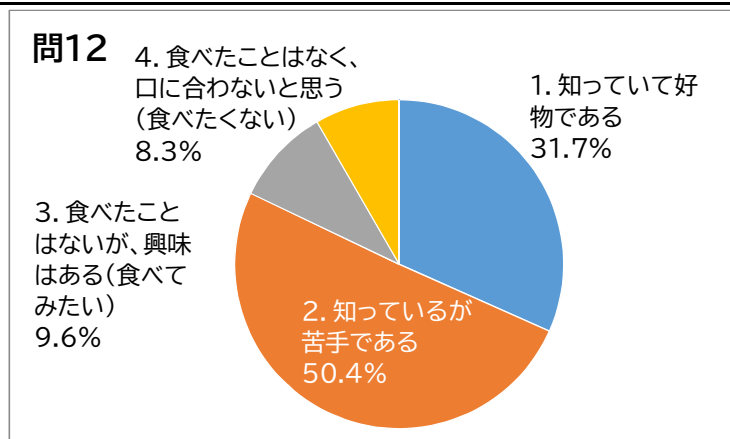
項目	人数(人)	割合(%)
琵琶湖にしかない特産品である	145	60.4%
(身近なスーパーなどに)あまり売っていない	73	30.4%
値段が高い	73	30.4%
おいしい	72	30.0%
安全・安心である	48	20.0%
健康によい	36	15.0%
生臭い	27	11.3%
価格が安い	8	3.3%
おいしくない	8	3.3%

問11



問12 「フナズシ」は、千年以上の歴史を持ち、保存食として、また贈答品や神社への供え物として用いられています。
滋賀県の伝統食「フナズシ」を知っていますか。最もあてはまるものを選択してください。(回答チェックは1つだけ n=240)

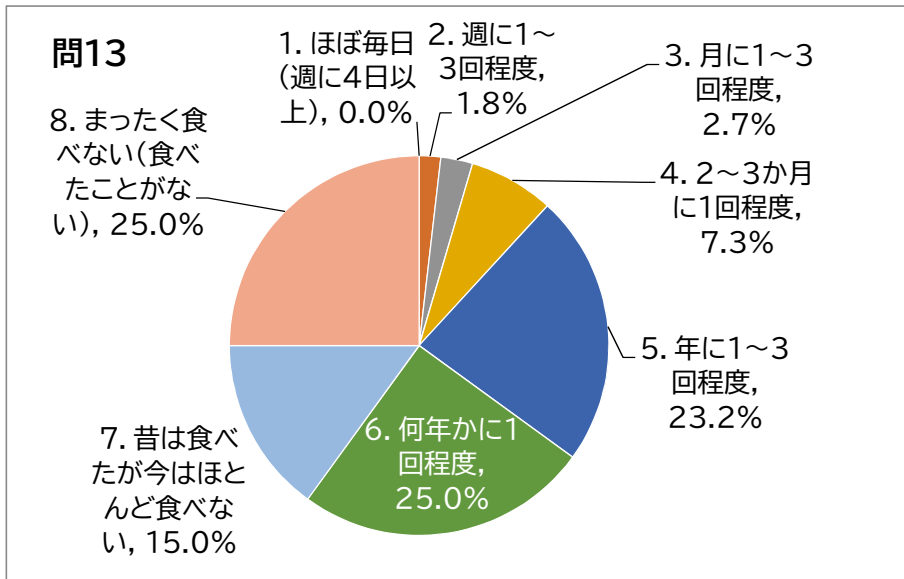
項目	人数(人)	割合(%)
1. 知っていて好物である	76	31.7%
2. 知っているが苦手である	121	50.4%
3. 食べたことはないが、興味はある(食べてみたい)	23	9.6%
4. 食べたことはなく、口に合わないと思う(食べたくない)	20	8.3%
5. 「フナズシ」について全く知らなかった(このアンケートで初めて知った)	0	0.0%
合計	240	100%



問13 「ふなずし」などのナレズシ(※)を食べる頻度について、最もあてはまるものを次の中から選択してください。(回答チェックは1つだけ n=220)

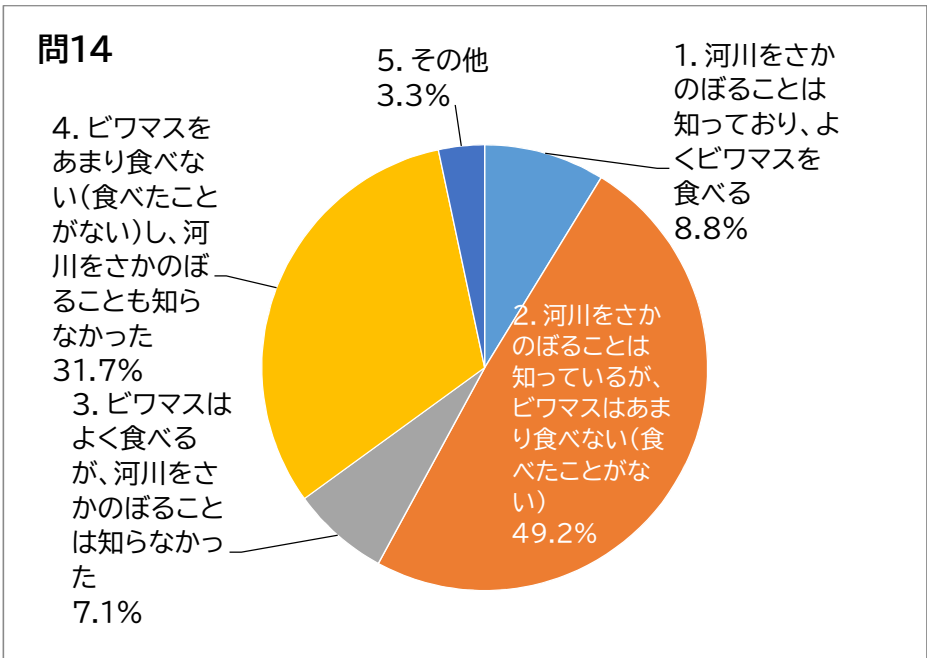
※ナレズシ…魚を塩と米飯で乳酸発酵させた寿司

項目	人数(人)	割合(%)
1. ほぼ毎日(週に4日以上)	0	0.0%
2. 週に1~3回程度	4	1.8%
3. 月に1~3回程度	6	2.7%
4. 2~3か月に1回程度	16	7.3%
5. 年に1~3回程度	51	23.2%
6. 何年かに1回程度	55	25.0%
7. 昔は食べたが今はほとんど食べない	33	15.0%
8. まったく食べない(食べたことがない)	55	25.0%
合計	220	100%



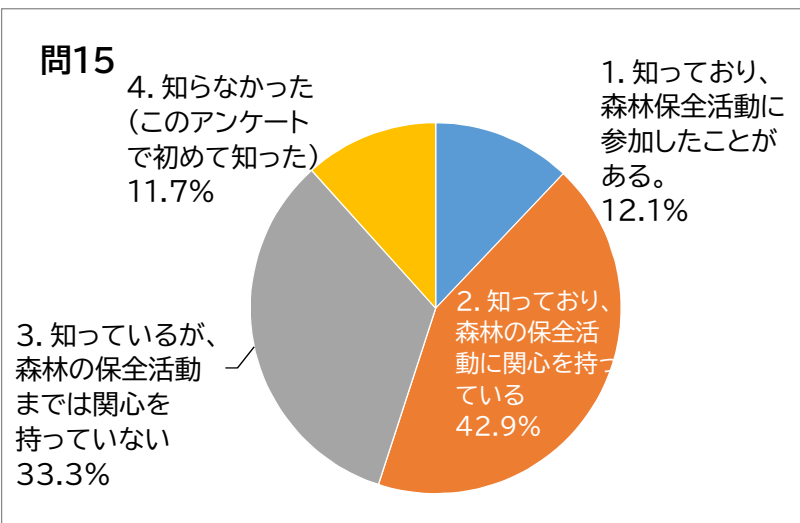
問14 琵琶湖で漁獲されるビワマスは、産卵のために河川を数十キロもさかのぼります(遡上)。近年、このビワマスがさかのぼる河川を環境を整えるための活動が、各地で行われています。ビワマスの遡上について、次の中から選択してください。(回答チェックは1つだけ n=240)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 河川をさかのぼることは知っており、よくビワマスを食べる	21	8.8%
2. 河川をさかのぼることは知っているが、ビワマスはあまり食べない(食べたことがない)	118	49.2%
3. ビワマスはよく食べるが、河川をさかのぼることは知らなかった	17	7.1%
4. ビワマスをあまり食べない(食べたことがない)し、河川をさかのぼることも知らなかった	76	31.7%
5. その他	8	3.3%
合計	240	100%



問15 森林には、雨水を吸収して一時的に蓄え、徐々に河川に送り出すことによって洪水を緩和する水源涵養(すいげんかんよう)の機能があります。
 問14のビワマスなどの生態系保全にもつながっており、植林や間伐などの森林を保全する営みが重要な役割を果たしています。
 森林が持つこのような多面的な機能や森林保全活動について知っていますか。(回答チェックは1つだけ n=240)

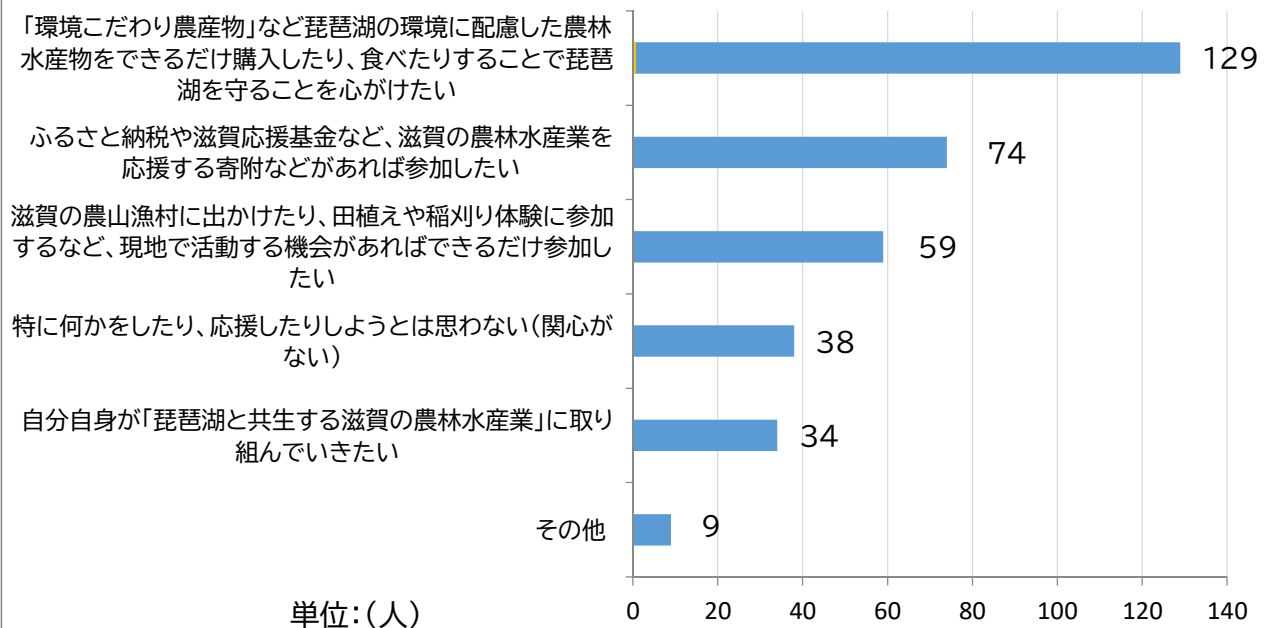
項目	人数(人)	割合(%)
1. 知っており、森林保全活動に参加したことがある。	29	12.1%
2. 知っており、森林の保全活動に関心を持っている	103	42.9%
3. 知っているが、森林の保全活動までは関心を持っていない	80	33.3%
4. 知らなかった(このアンケートで初めて知った)	28	11.7%
合計	240	100%



問16 「琵琶湖と共生する滋賀の農林水産業」に関して、御自身で何かできることをしてみたい、できれば応援したいと思いますか。(回答チェックはいくつでも n=240)

項目	人数(人)	割合(%)
「環境こだわり農産物」など琵琶湖の環境に配慮した農林水産物をできるだけ購入したり、食べたりすることで琵琶湖を守ることを心がけたい	129	53.8%
ふるさと納税や滋賀応援基金など、滋賀の農林水産業を応援する寄附などがあれば参加したい	74	30.8%
滋賀の農山漁村に出かけたり、田植えや稲刈り体験に参加するなど、現地で活動する機会があればできるだけ参加したい	59	24.6%
特に何かをしたり、応援したりしようとは思わない(関心がない)	38	15.8%
自分自身が「琵琶湖と共生する滋賀の農林水産業」に取り組んでいきたい	34	14.2%
その他	9	3.8%

問16



問17 その他、世界農業遺産「琵琶湖システム」や「琵琶湖と共生する滋賀の農林水産業」について御意見や応援メッセージがありましたらお聞かせください。(任意)(一部抜粋)

○「みずかがみ」や「ビワマス」のように、滋賀県産の農作物、水産物に固有の名前をつけてブランド化するのが重要だと思う。例えば同じサバでも「関サバ」のように地名などを付けるなど。そういった観点で言えば、「鮒」なども「ビワブナ」、「モロコ」は「近江モロコ」のように、滋賀県産ということも明確になり、ブランド化に繋がったり、他の同種のものより高くても売買されるのでは？

○毎日滋賀県産のお米を食べることが幸せです。身近な農産物を多くの方に味わって頂きたいと思っています。以前は他府県のブランド米を食べて美味しいと思っていましたが、地元を好きになるきっかけが滋賀県産の美味しいお米です。今後なるべく地元産を食べたいと思います。

○家の周りからどんどん田んぼがなくなっていて寂しくなります。歳を重ね農業への興味は少しずつ増してきて、何かお手伝いできるといいなと思っています。

○日頃食材で滋賀産を食しておりますが、特色を生かしているとは言い難いですね。食べ物としての特色があまりないので、もっと店頭で目に付くような販売方法や店頭展示、滋賀県内の販売店で競うような手段を行政指導の下で取り組んでいただいたら、もっと親しみをもって接することができると思います。

○認知度の向上のため、あらゆる媒体を活用して、県民へのアピールをすることが大切に感じる。まずは、県民一人一人の意識改革を推し進められることを期待します。

○世界農業遺産に登録されている自治体で、コラボして大々的に百貨店等でイベント(展覧やイートコーナー等)を行ってはどうか。食に関するものなら、コラボしながら全国各地を回って、広い屋外で屋台イベントなど行ってはどうか。また、地元で認識させるために、小中高校で積極的に授業で取り入れるなど行ってはどうか。幼児等向けに絵本等を作って幼稚園や保育所に配ってはどうか。ミシガン等に乗る客にパンフレット等配ったらどうか。良いものであるのに周知徹底させなければ意味がない。

○昔から湖魚を食べている方が、視力が衰えない方が多いと感じています。健康に関する効果をアピールして、湖魚を食べる習慣を広めてはどうでしょうか？

○世界農業遺産への認定がゴールではなく、スタートなので政策を続ける必要がある。

○ビワマスとか、フナズシとかすごく食べたいのですが、何せ高いのでなかなか食べることができません。県民でもそんなに身近によく食べる人は、少ないのではと思います。各地域で試食イベントや少量のお試し買いとかあるといいと思います。

○このアンケートを通じて知ったこともあるので、大変かと思いますが、広報誌や道の駅などでの定期的な広報活動が必要かと考えます。

○滋賀県ならではの取り組みだと思いますが、このアンケートで私は初めて知りました。SDGsに考慮した取り組みだと思うので、もっと知名度を上げていくべき。具体的にどういう取り組みに協力したら、農業遺産を守っていけるかが知りたいです。

○琵琶湖＝滋賀で琵琶湖と共生しなければ滋賀の発展はないと思う。その為に努力されておられる農林水産業に従事されている方に感謝すると共に環境に配慮した生活をしたい。滋賀県特有の取り組みが多数なのでこれからも応援していきたいです。

○滋賀県に引っ越してきて、滋賀県民が琵琶湖を守るために排水等に気を配っていることに感心しました。他県ではここまで無いと思います。息子が大学の授業の一環で魚のゆりかご水田の活動に参加したりしているのを見て、これからもさまざまな活動で琵琶湖が守られてほしいと感じています。

○滋賀にとって琵琶湖は宝物です。後世にも自然豊かな環境で残したいものです。

○沖島マルシェというイベントに家族で行きました。琵琶湖の食材がずらりと並び、フナズシをはじめ、ほぼ全てを初めていただき美味しく感動しました。この時に滋賀の食材の大切さをそして絶えてほしくないこの琵琶湖と滋賀の風景、ずっと続いて行って欲しいという思いを馳せました。

○このアンケートで説明を読んで始めて知る事が多かったが、目からうろこの内容が多々あって新鮮だった。これから少しでも勉強したいと思った。

○琵琶湖を中心として、琵琶湖とともにある滋賀の農林水産業の取り組みは全国に誇れるものだと思います。琵琶湖の水質を守ろうという運動から派生して、琵琶湖周辺の農林水産業を琵琶湖の保全活動と一体化して琵琶湖と共存共栄していくという取り組みは、琵琶湖を擁する滋賀県だけができる取り組みです。三日月知事や西川貴教さんを広告塔として、このことを大いに全国に発信していただき、滋賀の農林水産物のPR活動に努めていただきたいと思います。全国の人に滋賀県産の近江米やフナズシなどの滋賀の特産物を食べていただくことで、滋賀への理解を深めていってほしいと思います。「世界農業遺産」への認定をきっかけに滋賀県を盛り上げていっていただきたいと思います。

○農薬を使わないでも美味しいお米作りができるそうなのでそういう推進をしてほしい。最近除草剤の散布が気になります。琵琶湖を守るために、滋賀の土地を守るために除草剤を県全体で使用禁止にして草刈りと雑草堆肥を作る費用を出してほしい。

○世界農業遺産に認定されたことで、琵琶湖の重要性が県だけでなく日本中や世界にも知ってもらえる機会が増えることは良いことだと思います。県としても隣接する市町も、環境の維持・改善に責任を感じ必要に応じて対応していくことは重要かと思えます。逆に言うと、登録されたことによるデメリットは何なんでしょうか？

○今森光彦さんのイベントは過去よく参加しましたが里山は人が介入することで琵琶湖水系が守られていると思います。湖畔に住んでいますが、海岸と違ってこれほど魚・農水産業を感じられる場所は日本のどこにもないと感じています。

○「世界農業遺産」について広くHPなどで国内外に数多く発信するとともに、滋賀県の農林水産物や滋賀の地域資源を生かし内容を充実するとともに、各県の魅力度から立ち遅れている滋賀県の観光産業の推進に生かしていただきたい。